

教会ニュース 本庄キリスト教会

地域に根差した教会を目指して

それぞれ、自分のことだけでなく、他の人のことも顧みなさい。
キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。

ピリピ人への手紙2章4節～5節

本庄キリスト教会牧師

吉田 孝

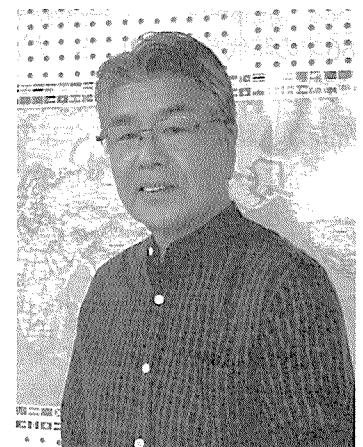
孝

■沿革

私達の教会は1954年チャールズ・コーヴィン宣教師と伊勢崎キリスト教会の応援によってスタートしました。日曜日午後や夜に路傍伝道、柔道場を借りて伝道集会をしていました。2年後ソープ宣教師とジョーンズ宣教師が本庄市内に定住し、礼拝と祈り会を行い伝道が進められました。

1957年4月伊勢崎キリスト教会から株分けの形で6名が転入し、最初の本庄キリスト教会員になりました。翌年、本庄市東台に新会堂を献堂して新しい段階を迎え、以降受洗が多く与えられています。1960年広岡アイ子牧師就任、1966年須田善壱牧師就任、1993年須田利子牧師就任、1998年現在地(五十子)を購入、1998年岡部高明牧師を兼務招聘、須田丈夫牧師招聘、2005年11月新会堂献堂式。2013年吉田孝が招聘され現在に至っています。

開拓から68年間を振り返ってみると宣教師、牧師、兄弟姉妹たちが熱心に奉仕しました。その途中で何度か厳しい試練の時もあったそうですが、主の恵みとあわれみの中で少しずつ成長し実を結び今に至っています。特に須田師家族が合計47年間奉仕してくださったことは大きな感謝です。



吉田 孝 牧師

■現在

新会堂に移って17年が経過し、教会債完済、改修工事を経て一段落というところですが、教会員の生活は大きく変わりました。施設で生活されている方やデイサービス利用者、そして主のもとに召された方もおられます。また体の弱さを覚え自由に動かないため礼拝に来られない方も増えました。私が就任した10年前とは様相ががらりと変わりました。

しかし主は不思議なことをなさるお方で、救いを求めて求道する方を絶えず送ってくださり、他にも転入会者、在日外国人の方、信者の家族を教会に送ってくださいます。教会員数は10年前より増えています。

各集会は皆さんのが集まりやすいように工夫しています。礼拝を午前10時と午後3時に開催し、各1時間で終わるようにしています。最近の試みは礼拝後に自由な形で15分間、恵みを分かち合うようにしました。それぞれにメッセージの感想を述べてもらうものですが、自分の口で発言することにより、宣教理解が再確認できるのでとても好評です。尚、コロナ禍により苦肉の策として礼拝のライブ配信を始めましたが多い時には40名の方が参加しているそうです。

聖書を読む会は木曜日と土曜日に開催し、それぞれの都合に合わせて各5名前後の参加者となっています。

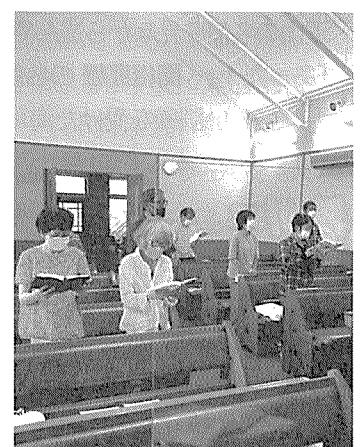


本庄キリスト教会会堂玄関に通じる入口

■地域貢献事業

地域に根差した具体的な働きについては、幸いなことに私が招聘される前から福祉に重荷を持つ方が数名おられ、前牧師の応援もあり、教会ボランティアグループ「ちいしば」が市役所で障害者施設の皆様が作った商品を週3回販売して障害者理解と経済支援を推進しています。

また牧師と5名の教会員が設立した一般社団法人ライフネットいかっこは、フードバンク、被災地支援、成年後見、墓じまい、不用品整理、資源回収、バザーの働きを通して可能性を秘めた地域貢献に取り組んでおります。



礼拝の様子

■将来展望

今後少子高齢化が一段と進み、現状のまま旧態依然とした歩みを続けると教会は消滅します。でもイエスのように生き、丁寧な聖書研究をしてイエスに信頼し、隣人愛に生きるなら教会は成長します。(特別な伝道プログラムはなくとも)今後も弱者を大切にして生きる事、キリスト者が安心な老後が送れる仕組みを考えています。地域に根差した教会の在り方を考えると課題は山ほどあります。